

海藻分解菌の単離とキャラクターゼーション、 及び海産二枚貝ムラサキインコガイの ストレス蛋白質遺伝子の検出と発現解析



研究のキーワード

バイオレメディエーション、バイオアッセイ、バイオマス、ストレス蛋白質

研究の内容

バイオレメディエーションやバイオモニタリング法の開発

植物性廃棄物(特に海藻廃棄物)を微生物によって分解し、減容化する。また、それらに含まれる多糖類の分解産物をバイオマスとして捉えた有効利用について研究しています。さらに、海産二枚貝のストレス蛋白質を用いた汚染物質の評価方法についての研究もしています。

産学連携・特許

共同研究: 環境に配慮した沿岸増養殖研究ネットワーク: 三重大学、東京海洋大学、立命館大学、三重県・愛知県・山口県の各水産試験場、各種真珠養殖漁連や関連企業
アコヤ真珠品質向上研究コンソーシアム: 若狭大月真珠養殖(株)、(公)名古屋産業振興公社、三重大学
産業財産権: 「燃料油および機能性油を産生する微細藻類」中村省吾、星野一宏、酒徳昭宏 出願番号: 特願2014-099787

科研費等外部資金

平成28年度 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター、革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)「真珠形成母貝アコヤガイ貝殻黒変に起因した真珠の品質低下を減らす研究」(代表)
平成27年度 国立研究開発法人 科学技術振興機構、平成27年度マッチングプランナー・プログラム「探索試験」、「商品化が困難な真珠を如何に減らすかーアコヤガイ貝殻黒変に起因した真珠の品質低下を減らす研究ー」(代表)
平成27年度 公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団、国内研究助成2015年度 萌芽的研究、「海藻分解菌Myt-1株による廃棄海藻の減容化とその分解産物の有効利用」(代表)

その他、社会貢献・受賞など

研究の概要図